



AUTENTICA

Compact Full Automatic Coffee Machine

デロンギ
オーテンティカ
コンパクト全自動コーヒーマシン

家庭用
型式番号

ETAM29510

※本体の型式番号「ETAM29510」の後に続く
アルファベットは外観仕様を表すものです。

取扱説明書

もくじ

使う前に	安全上のご注意	2
	はじめにご確認ください	4
	コーヒーをいれるまでの流れ	5
	各部のなまえとはたらき	6
	初めてお使いになる前に	9
コーヒー抽出	コーヒーマシンの準備	12
	コーヒー豆から抽出する	13
	コーヒー粉から抽出する	14
	おいしいエスプレッソのために	15
	カプチーノをつくる	16
	より熱いコーヒーをいれるには	18
その他	プログラムモード	19
お手入れ	お手入れ	22
	表示一覧	28
こんなときは	故障かな？	30
	仕様	32
	別売品	32
	アフターサービスについて	33
	保証規定	裏表紙

お客様情報登録のご案内

本製品の保証はお客様情報のご登録後に有効となります。別紙の『メーカー保証用お客様登録のご案内』をお読みの上、お買い上げ日から1カ月以内にご登録をお願いします。

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

安全上のご注意

各注意事項を必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。



警告

「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。



注意

「軽傷を負う可能性、または物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



指示

必ずしなければいけないことを示します。



禁止

してはいけないことを示します。



警告



指示

●定格 15 A (100 V) の壁コンセントを単独で使用する (火災の原因)

- ・ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しない
- ・海外など、異なる電源電圧の地域で使用しない
(日本国内専用)

●電源プラグは根元までしっかりと差し込む (火災の原因)

●電源プラグやコンセントのほこりなどは定期的にかき掃除をする (火災の原因)

●しっかり固定された平らな場所に置く (やけど・けがの原因)

- ・台やテーブルなどからはみ出した状態で使わない

●異常、故障時には直ちに使用を中止する (火災・感電・やけどの原因)

<異常、故障例>

- ・電源プラグ・コードが異常に熱くなる
- ・異常な音やにおいがする
- ・本体に破損や変形がある
- ・本体から水や蒸気が漏れる

異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。



禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない (感電の原因)

●電源プラグ・コードを破損させない (火災・感電の原因)

- ・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く
- ・傷付けたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない
- ・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
- ・火に近づけたり、高温部に近づけたりしない

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検・交換を依頼してください。

●水タンクを本体に取り付けたまま水を補充しない (感電の原因)

●子供など取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない (火災・感電・やけど・けがの原因)

●分解、修理、改造をしない (火災・感電・やけどの原因)

注意



指 示

●長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
(火災の原因)

●お手入れは必ず各部が冷えてから行う
(けが・やけどの原因)



禁 止

●水や蒸気のかかる場所、火気の近くで使用しない
(火災・感電の原因)

●お手入れのとき以外は豆ホッパーの中に指などを入れない
(けがの原因)

●使用中および使用後しばらくは抽出口やフロッサーに触れない
(やけどの原因)

・抽出中やお湯、スチームを出している最中に、
抽出口や蒸気が出るところに顔などを近づけない



禁 止

●抽出中や給湯中にトレイを引き出さない
(やけどの原因)

●水タンクに牛乳やお湯など、水以外のものを入れない
(やけどの原因)

●本体や電源コード・プラグに水をかけない
(火災・感電の原因)

・水をかけたり、水に浸けたり、水洗いしたりしない

誤って水をこぼしてしまった場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。

●他の製品の部品や付属品などを組み合わせて使用しない
(火災・感電の原因)

使う前に

はじめにご確認ください

「安全上のご注意」を確認する

本体を設置する前に「安全上のご注意」（2 ページ）をお読みください。

付属品を確認する

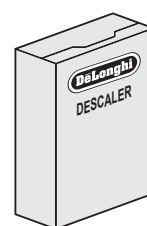
以下の付属品がすべて揃っているか確認してください。万が一、付属されていない場合は、お求めの販売店もしくは当社（33 ページ）にご相談ください。



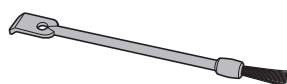
計量スプーン



水硬度チェッカー



コーヒーマシン用
除石灰剤



クリーニングブラシ

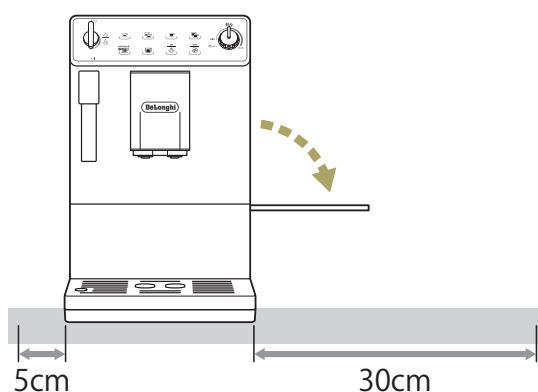
初めてお使いになるときに使用します。
「水硬度の設定」（10 ページ）
をご覧ください。

水に含まれる石灰成分を除去するために使用します。
「石灰の除去」（26 ページ）
をご覧ください。

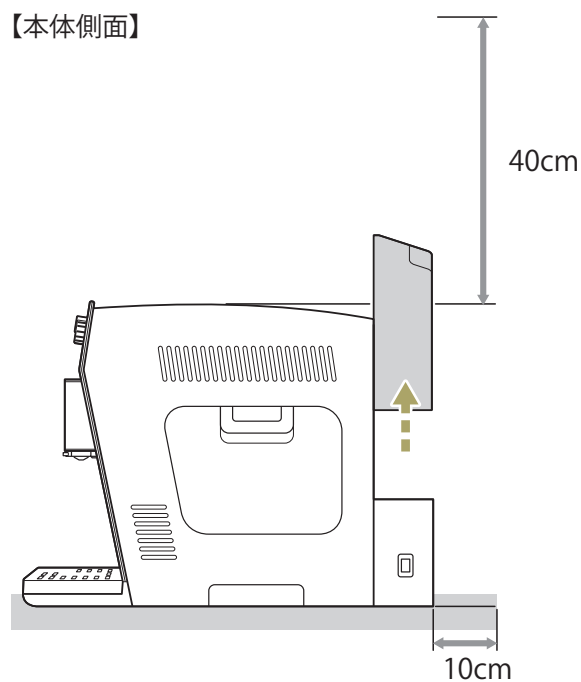
設置スペースを確認する

本製品は、右側面は 30cm 以上、左側面は 5cm 以上、背面は 10cm 以上、上面は 40cm 以上あけて設置してください。
※室温が 0℃ 以下になる場所に設置しないでください。（故障の原因）

【本体正面】



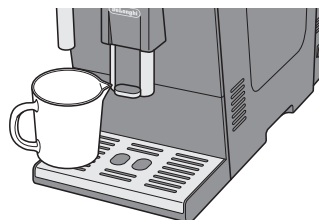
【本体側面】



コーヒーをいれるまでの流れ

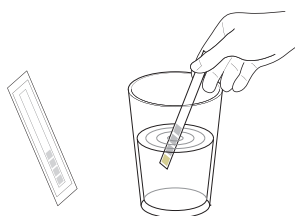
初めてお使いになる前に準備をします

本体内部に水を通して空気を抜きます。



空気抜き
→ 9 ページ

お使いになる水の硬度を測定して、本体に水硬度のレベルを設定します。

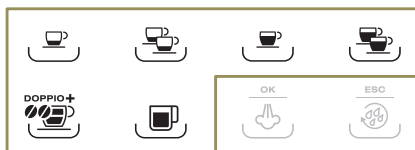


水硬度の設定
→ 10 ページ

コーヒーをいれます

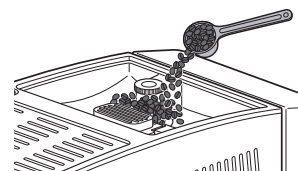
Step 4

お好みのコーヒーをタッチします



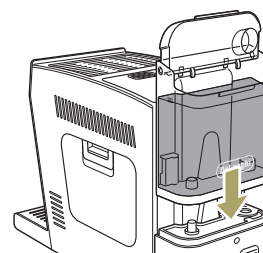
Step 1

コーヒー豆を入れます



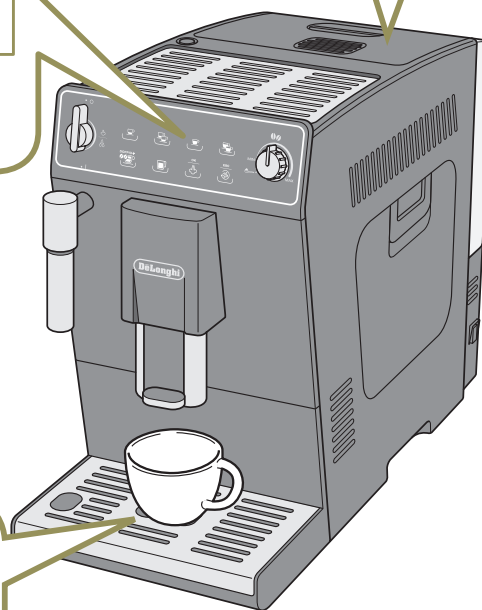
Step 2

水タンクに水を入れてセットします



Step 3

カップをセットします



使う前に

各部のなまえとはたらき

- 梱包材や保護シートなどはすべて取り除いてからご使用ください。
- 本製品は、実際に工場で1台1台豆を使った抽出試験を行って出荷されています。そのため、本体内部にコーヒーのカスが付着していることがあります。ご了承ください。
- ご使用前に「お手入れ」(22 ページ)をお読みの上、各部を洗ってください。

本体

【天面】

グラインダーノブ

豆の挽き具合を調整できます。(11 ページ)



豆ホッパーふた

豆ホッパー

コーヒー豆を入れます。

カップトレイ

パウダー投入口ふた

※すき間はふさがらないでください。(故障の原因)

パウダー投入口

コーヒー粉を入れます。

ボタン

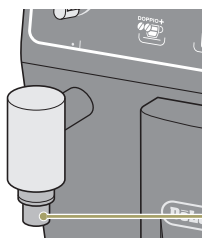
本体側面の主電源スイッチが入っているときに、電源の入/切ができます。

抽出ユニットふた

取っ手を押し下げて、手前に引くと開きます。

コントロールパネル

(8 ページ)



スチーム管



スチームノズル



フロッター

取り外しかたは24 ページをご覧ください。

抽出口

コーヒーが抽出されます。カップの高さに合わせて上下に調節できます。

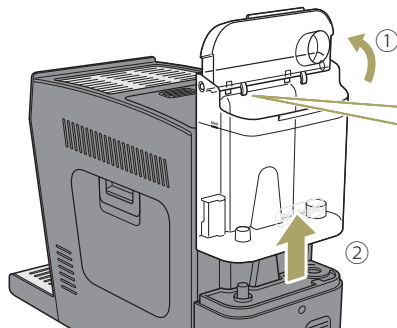
電源プラグ

電源コード

本体背面

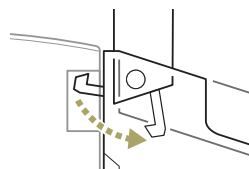
水タンク

水を入れます。



ロック解除

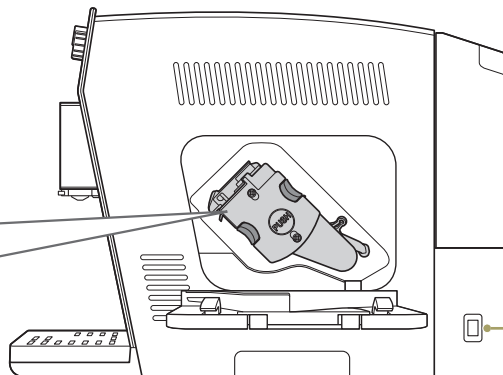
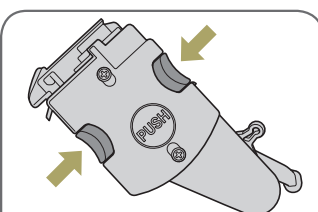
水タンクのふたを開けるとロックが解除され、本体からの取り外し、取り付けができるようになります。



本体側面

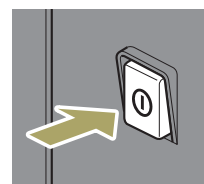
抽出ユニット

赤いボタン（2箇所）をつまみながら手前に引くと、外れます。



主電源スイッチ

主電源の入／切をします。



【横から見た図】

【入】

主電源を入れた状態
(スタンバイ)

【切】

主電源を切った状態

水滴受け

トレイを取り外しているときに
出る水滴を受けます。

カップ受け

トレイ

内部洗浄で排出される水などがたまり
ます。手前に引き出すと外せます。

カス受け

が点滅したら、満杯になって
いなくてもカスを捨ててください。

コーヒー粉受け

グラインダーの粉排出
時に付着したコーヒ
ー粉を受けます。

水位計

カップ受けの穴の上に出てきたら、
トレイの水を捨ててください。

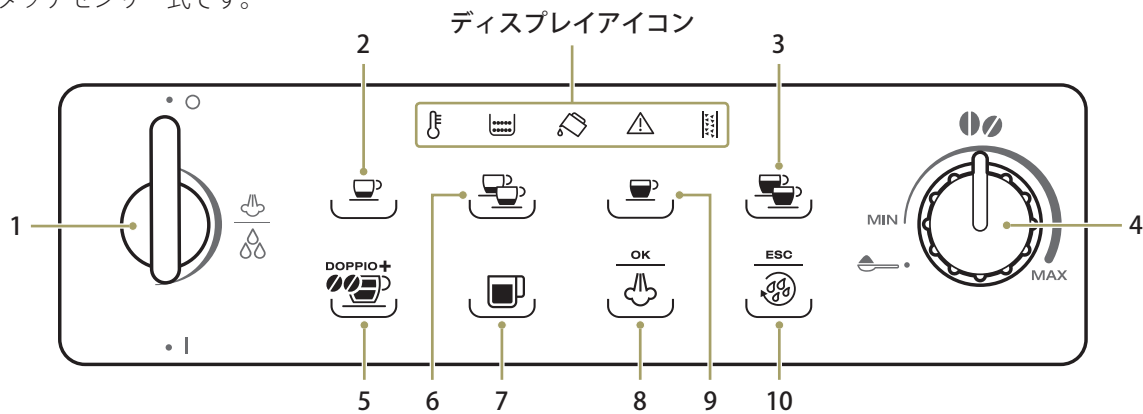
使う前に

(つづく)

各部のなまえとはたらき（つづき）

コントロールパネル

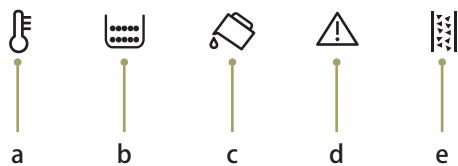
● ボタンはタッチセンサー式です。



番号	名称	説明	番号	名称	説明
1	スチームノブ	牛乳の泡立てのための蒸気、またはお湯を出すときに使います。	6	2杯抽出[少]ボタン	エスプレッソを2杯分抽出します。
2	1杯抽出[少]ボタン	エスプレッソを1杯分抽出します。	7	カフェ・ジャポーネボタン	カフェ・ジャポーネを抽出します。(13ページ)
3	2杯抽出[多]ボタン	ロングコーヒーを2杯分抽出します。	8	スチーム／OKボタン	● 通常モード時：スチーム（蒸気）の予熱を開始します。(16ページ) ● プログラムモード時：操作を確定します。
4	豆量調整ノブ	コーヒーの濃さ（豆の量）の調整や、コーヒー粉抽出への切り替えに使います。	9	1杯抽出[多]ボタン	ロングコーヒーを抽出します。
5	ドッピオ＋ボタン	ドッピオ＋を抽出します。(13ページ)	10	内部洗浄／ESCボタン	● 通常モード時：手動内部洗浄をします。 ● プログラムモード時：操作をキャンセルします。

ディスプレイアイコン

● 本体の状態や設定を点灯や点滅で表示します。



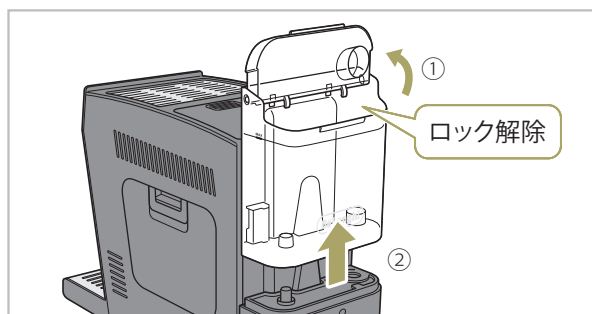
番号	名称	説明
a	予熱アイコン	予熱中に点滅します。
b	カス受けアイコン	● カス受けが取り付けられていないと点灯します。 ● カス受けがいっぱいになると点滅します。
c	給水アイコン	水タンクの水がなくなると点滅します。
d	警告アイコン	本体の状態をお知らせします。
e	除石灰アイコン	石灰の除去が必要な時期になったら点滅します。

初めてお使いになる前に

空気抜き

本体内部の水経路から空気を抜き、同時に内部を洗浄します

- 1** 水タンクのふたを開けた状態（ロック解除）にし、水タンクを取り外す

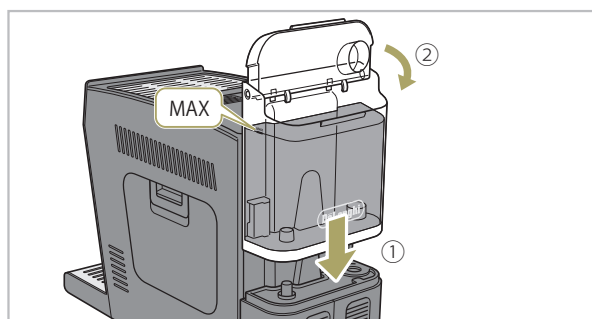


- 2** 水タンクの「MAX」の線まで水を入れて、本体に取り付ける



取り付けるときは、必ず水タンクのふたを開けた状態（ロック解除）にしてください。（破損の原因）

※水がこぼれないようにご注意ください。

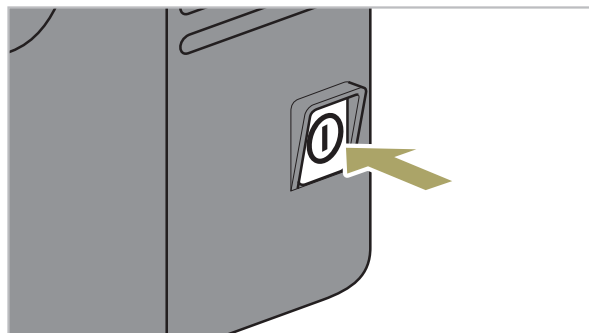


- 3** 容量が 100mL 以上の容器をフロッサーの下に置く



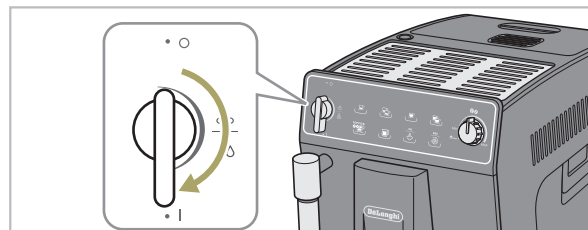
- 4** 電源プラグをコンセントに差し込み、本体側面の主電源スイッチを入れる

●  が点滅します。



- 5** スチームノブを「I」の位置まで回す

- フロッサーから水が出ます。
- 水を吸い上げるときに大きな動作音がしますが、異常ではありません。
- 空気抜きが完了すると自動で水の排出が止まり、 が点滅します。



  が点滅したときは、空気抜きが完了していません。スチームノブを「O」の位置に戻してから主電源を切り、手順4から操作をやり直してください。

- 6** スチームノブを「O」の位置まで回す

- 自動で電源が切れます。（スタンバイ状態）
- ※容器の水を捨ててください。

<知っておいていただきたいこと>
普段使用していて、大きな音がしたとき.....

大きな音がしてコーヒーまたはお湯が出ないときは、本体の水経路に空気が入っている可能性があります。その場合は、空気を抜くために給湯（18 ページ）を行ってください。

使う前に

(つづく)

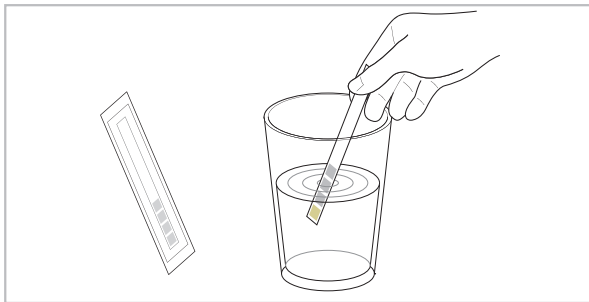
初めてお使いになる前に (つづき)

水硬度の設定

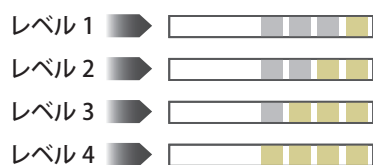
初めてお使いのときは、ご使用になる水の硬度に合わせて機器を調整します

- 本製品では、石灰の除去（除石灰）が必要になると、ディスプレイでお知らせする機能があります。水硬度の設定をしておくと、適切なタイミングで石灰除去のお手入れをご案内します（26 ページ）。
- お買い上げ時は、レベル 1 に設定されています。

- 1 付属の水硬度チェッカーをコーヒーを入れる水に数秒間浸した後、軽く振って約 1 分間待つ



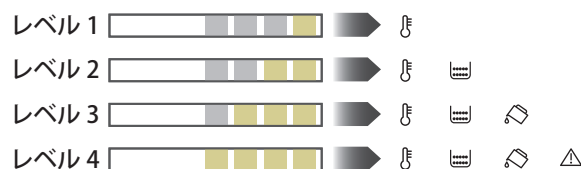
- 2 ピンク色になった四角の数を確認する
※ピンク色に変化しない場合はレベル 1 となります。



- 3 電源が「切」（スタンバイ状態）のときに、アイコンが点灯するまで  をタッチし続ける

- 現在の水硬度設定値が点灯します。

- 4  を繰り返しタッチし、手順 2 で確認した水硬度レベルを選択する



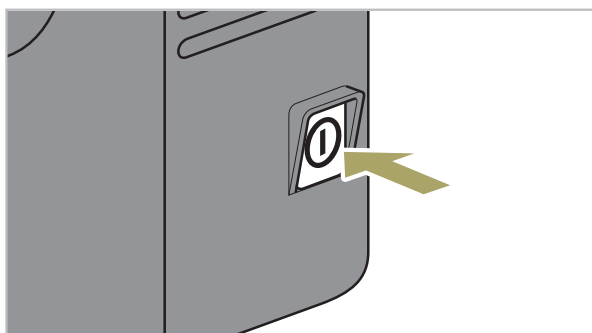
- 5  をタッチして確定する

- ディスプレイアイコンが消灯して、設定が完了します。

※設定をキャンセルする場合は  をタッチしてください。

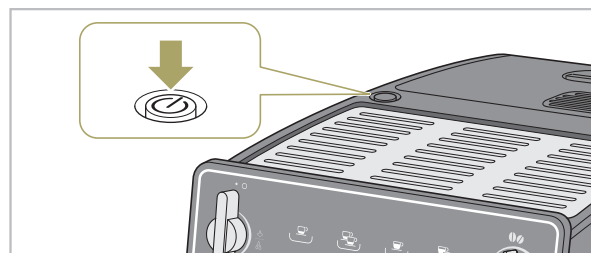
電源を入れる（自動内部洗浄）

- 1 電源プラグをコンセントに差し込み、本体側面の主電源スイッチを入れる



- 2 ① ボタンを押す

- ① が点滅して自動で内部洗浄が始まり、抽出口からお湯が出ます。
- 内部洗浄中は操作できません。
- ① が消灯してボタンが点灯したら、抽出などの操作が可能です。



熱湯が出ますので、やけどにご注意ください。

電源を切る（自動内部洗浄）

- 1 ① ボタンを押す
 - 自動で内部洗浄が始まり、抽出口からお湯が出ます。
 - ① の点滅が消えたら、電源が切れます。

- 2 本体側面の主電源スイッチを押す

- ① ボタンで電源を切る前に、主電源を切らないでください。



長期間使わない場合は、主電源を切った後、電源プラグを抜いてください。

内部洗浄について

- 電源を入切すると自動で内部洗浄が始まり、本体内部の水経路が洗浄されて抽出口からお湯が出ます。
※本体が温まっているときは、自動で内部洗浄されないことがあります。
※コーヒーを1杯も抽出せずに電源を切ると、自動内部洗浄はされません。

豆の挽き具合の調整

通常はお買い上げ時の設定「5」のままお使いください

豆の挽き具合は次の場合にのみ調整してください。

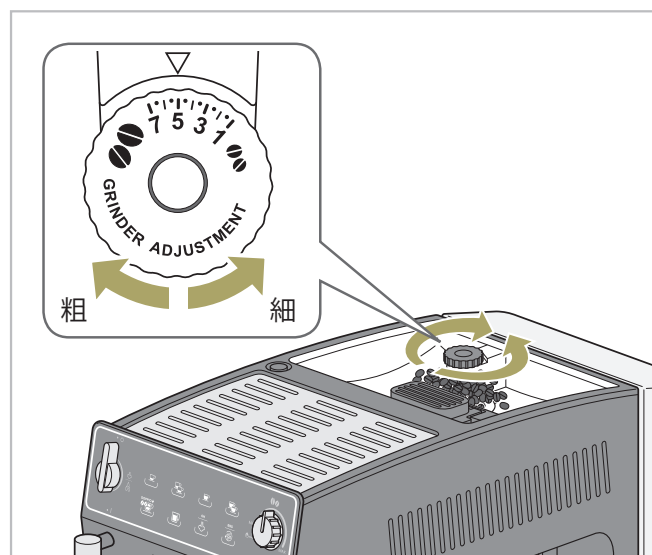
- コーヒーが抽出されない、または抽出が極端に遅い
グラインダーノブを粗いほう（時計回り）に1目盛回す
- コーヒーが薄い、またはもっとクリーミーにしたい
グラインダーノブを細かいほう（反時計回り）に1目盛回す

調整した後は、コーヒーを2杯以上抽出しないと効果が得られません。効果が得られなかった場合は、もう一度調整してください。



次のことをお守りください。（故障の原因）

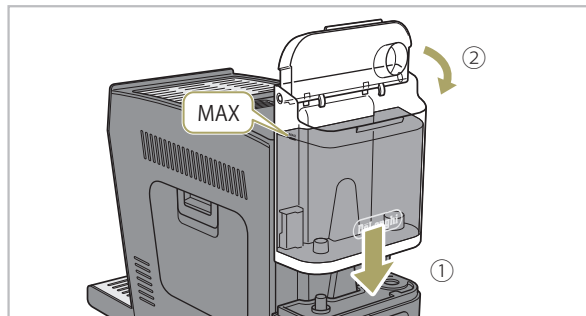
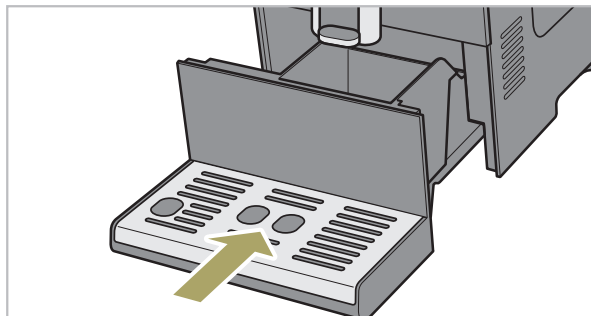
- グラインダーノブは、グラインダーが作動中（豆が挽かれているとき）のみに動かし。
- グラインダーノブを回すときは、1度に1目盛以上回さない。



コーヒーマシンの準備

- 必要な材料と道具については「おいしいエスプレッソのために」(15 ページ) をご覧ください。

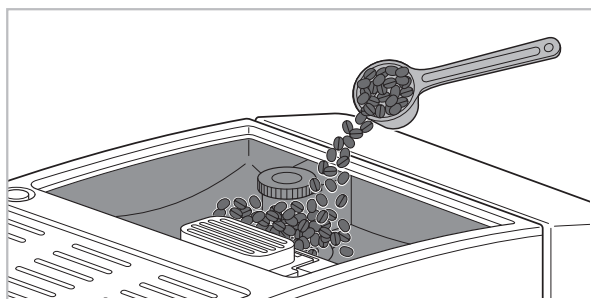
1 トレイ／水タンクをセットする



水タンクを取り付けるときは、必ず水タンクのふたを開けた状態（ロック解除）にしてください。（破損の原因）
※水がこぼれないようにご注意ください。

2 豆ホッパーふたを開けてコーヒー豆を豆ホッパーに入れる

- 適量の豆で抽出するために、目安量より多めにコーヒー豆を入れてください。



目安量

- 1 杯のとき：約 6 ～ 11g
 - 2 杯のとき：約 10 ～ 14g
 - ドッピオ+ のとき：約 15g
 - カフェ・ジャポネのとき：約 12 ～ 20g
- ※数値は目安です。お使いになるコーヒー豆の状態や粒度の設定によって、挽かれる豆の量は変わります。

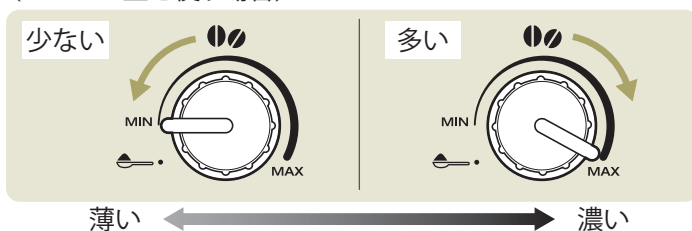
コーヒーの濃さについて

お好みに合わせてコーヒー豆の量を選びます

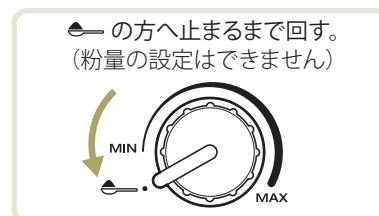
豆量調整ノブを回してコーヒーの濃さ（コーヒー豆の量）を選びます。

※ドッピオ+ のコーヒーの濃さ（コーヒー豆の量）は調節できません。

（コーヒー豆を使う場合）



（コーヒー粉を使う場合）



抽出量について

お好みの抽出量を 6 つのボタンで選びます

ボタン	(1 杯抽出 [少])	(2 杯抽出 [少])	(1 杯抽出 [多])	(2 杯抽出 [多])	(ドッピオ+)	(カフェ・ジャポネ)
初期設定	約 30mL	約 60mL	約 120mL	約 240mL	約 120mL	約 180mL
設定範囲*	約 20 ～ 180mL	約 40 ～ 360mL	約 20 ～ 180mL	約 40 ～ 360mL	約 80 ～ 160mL	約 120 ～ 250mL

少ない ← → 多い

※ 抽出量は 1 杯抽出時の目安です。2 杯抽出時は約 2 倍の量が抽出されます。

※ドッピオ+ とカフェ・ジャポネは 1 杯抽出のみとなります。(13 ページ)

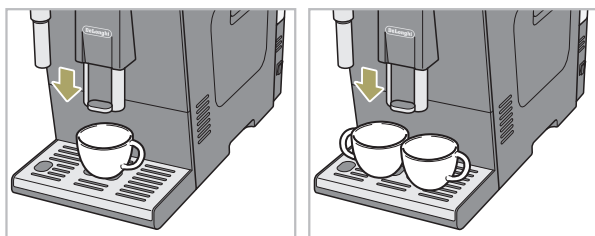
* 設定範囲の中でお好みの量を各ボタンに登録できます。(13 ページ)

コーヒー豆から抽出する

エスプレッソや、より香り高いドッピオ+、ハンドドリップのように豆を蒸らしながら抽出するカフェ・ジャポネをお楽しみになれます。

※抽出する前に「コーヒーマシンの準備」(12 ページ) をご覧ください。

1 カップを置き、抽出口を下げてもう1杯に近づける



[1 杯の場合]

[2 杯の場合]

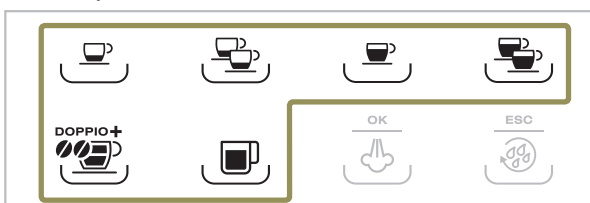
※ドッピオ+とカフェ・ジャポネは2杯抽出できません。

※2杯抽出の場合、左右のカップに入るコーヒーの量に多少の差が生じることがあります。

2 豆量調整ノブを回してコーヒーの濃さ(コーヒー豆の量)を選ぶ(12 ページ)

- コーヒー豆からいれるときは、豆量調整ノブを「MIN」を越えて回さないでください。(コーヒー粉を使った抽出動作になり、豆が挽かれません)
- ドッピオ+を入れるときはこの操作は不要です。手順3へ進んでください。

3 お好みの抽出量のボタンをタッチする(12 ページ)



- タッチしたボタンが点灯して抽出が始まります。
- 抽出が終わると、すべてのボタンが点灯して次のコーヒーをいられる状態になります。

● 途中で止めたいときは、抽出中に再度同じボタンをタッチします。

● 抽出量を増やしたいときは、抽出終了後2秒以内に再度同じボタンをタッチすると、タッチしている間コーヒーが抽出されます。ボタンを離すと抽出が止まります。

※[] が点滅した場合は、カス受けにたまったコーヒーカスを捨ててください。(23 ページ)

ドッピオ+について

通常のコーヒーよりも多めに挽いたコーヒー粉に十分な蒸らしを加え、さらに高めの圧力で抽出します。

- 抽出量の初期設定は約120mLです。

カフェジャポネについて

給湯・蒸らしを繰り返す間欠抽出を2回行うのが特徴です。

- 1度目の抽出が終わると、自動でグラインダーが作動して2度目の抽出を始めます。(カップは置いたままにしてください。)
- 抽出量の初期設定は約180mLです。

定量設定をするときは

お好みの抽出量にあったカップを抽出口の下に置いてください。

☞(1杯抽出[少])、☞(1杯抽出[多])の場合:

1. ☞または☞を点滅するまでタッチする

- 全てのディスプレイアイコンが4回点滅したら、ボタンから手を離してください。
- 抽出が始まります。

2. お好みの量のコーヒーが抽出されたところで、再度同じボタンをタッチする

- 抽出が止まり、設定完了です。

(設定範囲: 約20 ~ 180mL)

※2杯抽出のボタン(☞または☞)をタッチすると設定した抽出量の2倍の量が抽出されます。

☞(ドッピオ+)の場合:

1. ☞を点滅するまでタッチする

- 全てのディスプレイアイコンが4回点滅したら、ボタンから手を離してください。
- 抽出が始まります。

2. お好みの量のコーヒーが抽出されたところで、再度同じボタンをタッチする

- 抽出が止まり、設定完了です。

(設定範囲: 約80 ~ 160mL)

☞(カフェ・ジャポネ)の場合:

1. ☞を点滅するまでタッチする

- 全てのディスプレイアイコンが4回点滅したら、ボタンから手を離してください。
- 抽出が始まります。

一定量を抽出すると、2回目の抽出を始めます。

2. お好みの量のコーヒーが抽出されたところで、再度同じボタンをタッチする

- 抽出が止まり、設定完了です。

(設定範囲: 約120 ~ 250mL)

コーヒー粉から抽出する

※抽出する前に「コーヒーマシンの準備」(12 ページ) をご覧ください。

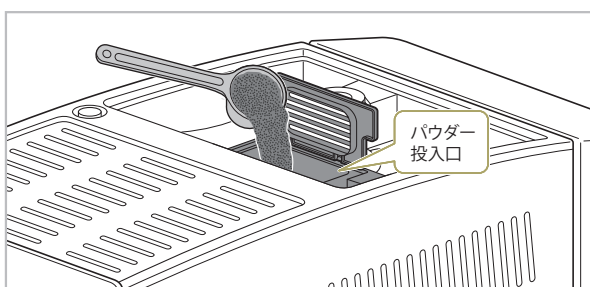
※ドoppio+ はコーヒー豆の量を多めに挽いて抽出するため、コーヒー粉からの抽出に適していません。コーヒー豆からの抽出をおすすめします。

1 豆ホッパーふたを外し、パウダー投入口ふたを開けてコーヒー粉をパウダー投入口に入れる

目安量

計量スプーンすり切り～山盛り 1 杯 (約 6 ～ 11g)

最大量：計量スプーン山盛り 1 杯まで



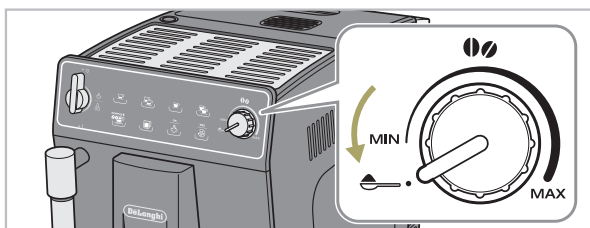
電源が切れているときにコーヒー粉を入れないでください。コーヒー粉が内部で飛び散ります。

2 カップを置き、抽出口を下げてもうカップに近づける



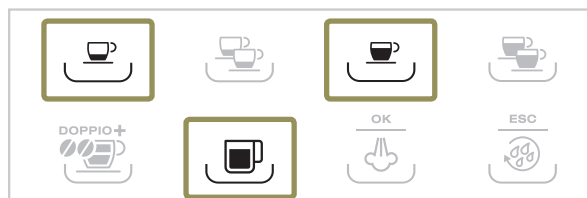
- コーヒー粉から抽出するときは、1 杯抽出のみとなります。

3 豆量調整ノブを ☞ の位置まで回す



- コーヒーの抽出量については、「抽出量について」(12 ページ) をご覧ください。

4 お好みの抽出量のボタンをタッチする (12 ページ)



- タッチしたボタンが点灯して抽出が始まります。

カフェ・ジャポネーの場合

カフェ・ジャポネーは、2 度抽出を行います。

1 度目の抽出後、☞ が点滅すると同時に ☠ が点灯したら、新しいコーヒー粉をパウダー投入口に入れた後、☞ をタッチしてください。

- 抽出が終わると、すべてのボタンが点灯して次のコーヒーをいれられる状態になります。

- 途中で止めたいときは、抽出中に再度同じボタンをタッチします。
- 抽出量を増やしたいときは、抽出終了後 2 秒以内に再度同じボタンをタッチすると、タッチしている間コーヒーが抽出されます。ボタンを離すと抽出が止まります。

※ ☠ が点滅した場合は、カス受けにたまったコーヒークスを捨ててください。(23 ページ)

- 定量設定については、13 ページをご覧ください。

おいしいエスプレッソのために

おいしいエスプレッソとは

エスプレッソは「クレマ」という表面を覆う細かい泡ができます。理想的なクレマはクリーミーで、褐色または焦げ茶色に近いキャメル色をしています。グラニュー糖をのせてもすぐに沈まない厚みのあるクレマなら、エスプレッソの香りが閉じ込められ、また冷めにくくもなり、おいしいエスプレッソを楽しむことができます。

材料と道具



コーヒー豆

エスプレッソ用として売られているものや、やや深煎りのコーヒー豆（ハイロースト、シティロースト、フルシティローストなど）がよいでしょう。挽いたコーヒー豆を使う場合は、極細挽きや細挽きが適しています。

好みのコーヒー豆を選び、お気に入りの香りをお楽しみください。

※冷凍庫や冷蔵庫に入れていたコーヒー豆は、結露をなくすため室内にしばらく置き、室温に戻してからお使いください。（故障の原因）

※インスタントコーヒー、ココアパウダーやフレーバーコーヒーはお使いいただけません。（故障の原因）

<コーヒー豆に関するご注意>

過度に油分の多いコーヒー豆は、当マシンに適さない場合がございます。

油分によってコーヒー豆同士がくっついたり豆ホッパーに付着したりしてしまいグラインダーに引き込まれにくい際は、豆ホッパーを乾いたふきんで拭く、もしくは油分の少ないコーヒー豆をご使用ください。



水

水道水や軟水（硬度：90mg/L 以下）のミネラルウォーターが適しています。

※硬水を使用するとカルキ分が詰まりやすくなります。

※ミネラルウォーターや浄水器を通した水は、残留塩素の殺菌効果がないため、カビなどが発生しやすくなります。衛生上、各部の定期的なお手入れ（22 ページ）を必ず行ってください。



カップ

厚みがあり底がすばまった形のものが冷めにくく、おすすめです。

エスプレッソには容量が 60mL 前後、カプチーノには高さ 14cm 以内で容量が 180mL 前後のものが適しています。カフェ・ジャポネなど抽出量の多いコーヒーなどをいれるときは、高さ 14cm 以内でそれぞれ抽出量に合った容量のカップをご用意ください。



牛乳

成分無調整で乳脂肪分 3.0% 以上の新鮮でよく冷えた牛乳をお使いください。

牛乳は使う直前まで冷蔵庫に入れておきましょう。



ミルクジャグ

口径が小さく深めのもので、手で温度を感じやすい厚手のステンレス製がおすすめです。使う牛乳の倍の容量のあるものをご用意ください。

カプチーノをつくる

スチームで牛乳を泡立てて、カプチーノ用のフロスミルクを作ります。
※抽出する前に「コーヒーマシンの準備」(12 ページ) をご覧ください。

1 ミルクジャグに牛乳を入れる

- 泡立てるとかさが増えるので、牛乳はミルクジャグの容量の半分以上入れないでください。

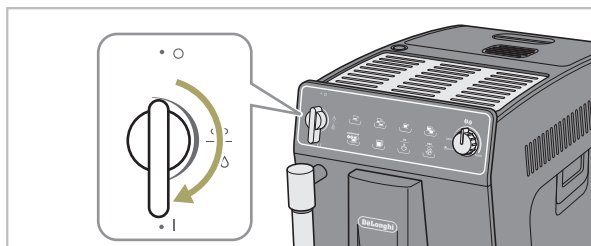
2 空のカップを置く



3 をタッチする

-  が点滅し、 が点灯します。(予熱中)

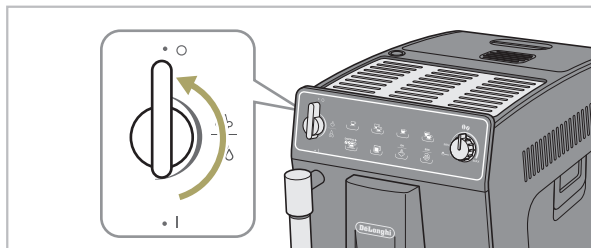
4 が消灯し、 が点滅に変わったら、スチームノブを「I」の位置まで回す



- スチーム管の中の余分な水分を取り除きます。

5 スチーム管の中の余分な水分が抜けたら、スチームノブを「O」の位置まで回す

※カップのお湯は捨ててください。



6 フロッサーを外側に向け、フロッサーの先端が牛乳に浸かる程度にミルクジャグを差し込む



7 再度 をタッチして、 が消灯し、 が点滅に変わったら、スチームノブを「I」の位置へ回してミルクを泡立てる。好みの泡ができたならスチームノブを「O」の位置に戻す



- スチームを止める前にミルクジャグを外さないでください。牛乳が飛び散って、やけどの原因となります。
- スチームは 60 秒以上出さないでください。

- 3 分以上連続でスチームを出すと、安全のためにスチームが止まります。

「I」にしてもスチームが出ない場合

(全てのボタンが点灯している)

安全のために、次のようなときはスチームが出ない状態に戻ります。

- 30 秒間スチームを出さなかった
- いずれかのボタンをタッチした

引き続きスチームを出す場合は、手順 3 ～ 7 をもう一度行ってください。

8 エスプレッソを抽出する

- コーヒー豆から抽出する場合
⇒ 13 ページ
- コーヒー粉から抽出する場合
⇒ 14 ページ

9 泡立てた牛乳をエスプレッソに注ぐ

※牛乳を泡立てた後は、スチームノズルとフロッサーをお手入れしてください。(下記参照)



スチームノズルとフロッサーのお手入れ

牛乳のカスのこびり付きや、スチームノズルの詰まりを防止するために、牛乳を泡立てた後はスチームノズルとフロッサーを清掃してください。

1. 洗ったミルクジャグに水を半分ほど入れる
2. 水の入ったミルクジャグにフロッサーを浸けて、 をタッチする
3. スチームノブを「I」の位置へ回し、約 10 秒後「O」の位置に戻す
4. フロッサーをふきんで拭く

知っておいていただきたいこと

以下の場合、トレイから蒸気が出たり、トレイにお湯が少量たまりますが、異常ではありません。

-  をタッチしてスチームの準備をしているとき
- スチーム使用後、スチームノブを「O」の位置に戻したとき
- スチーム使用直後に内部洗浄をしたり、コーヒーを抽出したとき
※スチームを使用した直後に、トレイを引き出さない（お湯が漏れる原因）

ヒント▶▶

上手に泡立てるには

1. フロッサーの先をミルクジャグの端（側面）に寄せます。
2. 牛乳のかさが増えてきたら、フロッサーをミルクジャグの中央に移動させて、「キュルキュル」と音が鳴るところまで、フロッサーの先を牛乳に浸けていきます。泡と牛乳の境目を探すイメージです。
3. さらにかさが増してきますので、ミルクジャグの縁からこぼれない程度のところでスチームを止めます。ミルクジャグの側面を手で触りながら泡立てていき、側面が触れられないくらい熱くなってきたころが目安です。(60～65℃)



4. ぬれたふきンを敷いた台の上で、ミルクジャグをトントンと上下に叩いて大きい泡を潰し、円を描くようにミルクジャグを回すと、きめ細かくクリーミーな泡ができあがります。



より熱いコーヒーをいれるには

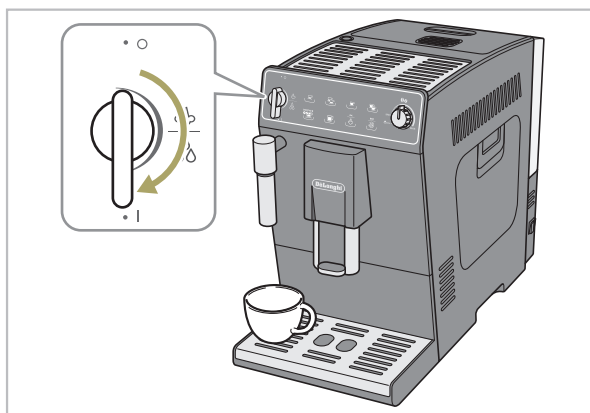
室温や使用する水の温度が低いときに、カップや本体内部を温めておきます。

カップを湯煎する（給湯機能）

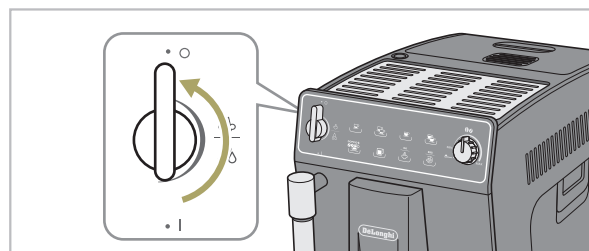
- 1 フロッサーの下にカップを置き、スチームノズルを「I」の位置まで回す

- フロッサーからお湯が出ます。

※  が点滅しているときは、予熱中のためお湯が出ません。そのまましばらくお待ちください。



- 2 お好みの量が出たらスチームノズルを「O」の位置まで回す



本体内部を温める（手動内部洗浄）

内部洗浄をすることで本体内部を温めます。

- 1 抽出口の下に 100mL 以上の容器を置く

- 2  をタッチする

- 抽出口からお湯が出て、自動で止まります。

※ 容器に出たお湯は捨ててください。

抽出温度を高くする

コーヒーを抽出するときのお湯の温度を高めを設定します。（21 ページ）

プログラムモード

本製品には、コーヒーやカプチーノを作る操作などを行う「通常モード」と、設定の変更や登録などを行う「プログラムモード」があります。

設定は電源を「切」にしてから行います。

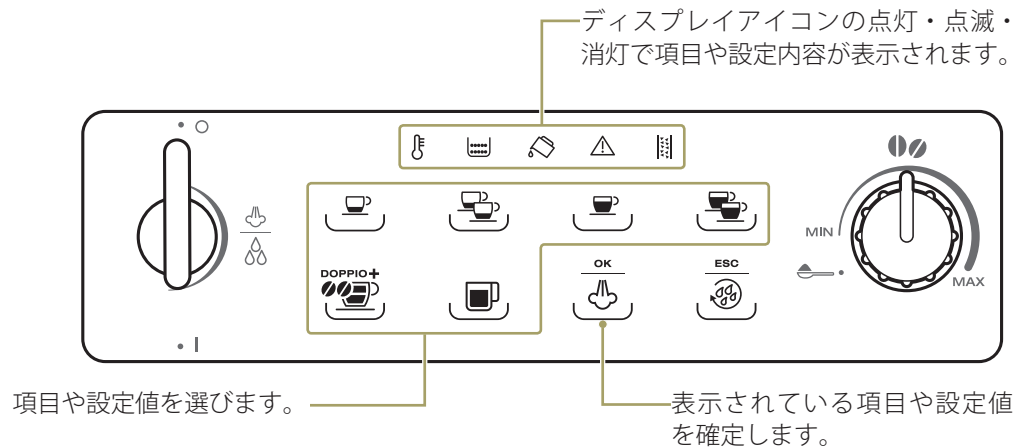
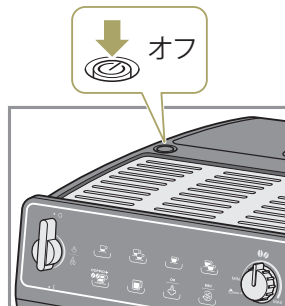
※本体側面の主電源スイッチは「入」のままにしてください。

プログラムモードのメニュー一覧

メニュー	内 容	説明ページ
水硬度の設定	水硬度チェッカーで確認した水硬度レベルを設定します。	10
抽出温度の設定	コーヒーを抽出するときのお湯の温度を4段階から設定します。	21
オートオフの設定	何も操作しない時間が続いたときに、自動的に本体の電源が切れるまでの時間を設定します。	21
節電機能の設定	操作をしていないときの消費電力を抑える節電機能の入切を設定します。	20
プログラムリセット	設定を工場出荷時の初期設定時に戻します。	21
石灰の除去	⌵が点滅したときに石灰の除去を行います。	26

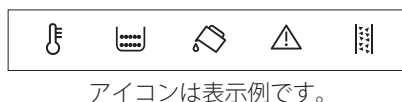
プログラムモード (つづき)

基本操作



1 電源ボタンを押して、電源を切る
※本体側面の主電源スイッチは「入」のままにします。

2 設定したいメニューのボタンをディスプレイアイコンが点灯するまでタッチし続ける



3 設定値を選ぶ



4 OKボタンをタッチして確定する

節電機能の設定

節電機能の入切を設定します。初期設定は「入」になっています。
節電モード中は待機時の消費電力を抑えるため予熱をしません。

手順	ディスプレイ表示				
1. 電源ボタンを押して、電源を切る	<table><tr><td>節電機能「入」</td><td>点灯</td></tr><tr><td>節電機能「切」</td><td>消灯</td></tr></table>	節電機能「入」	点灯	節電機能「切」	消灯
節電機能「入」		点灯			
節電機能「切」		消灯			
2. 設定ボタンを押して、設定メニューに入る ● 設定メニューは、節電機能の「入」の場合に点灯します。					
3. 設定メニューの項目をタッチして、設定メニューの項目が点灯、または消灯することで節電機能の入切を設定する ● キャンセルする場合は、ESCボタンを押して、ESCメニューに入る。					
4. OKボタンを押して確定する ● ディスプレイアイコンが消灯してプログラムモードが終了します。					

節電モード中にコーヒーを抽出したり、給湯をしたりすると、予熱のため抽出開始まで少し時間がかかる場合があります。その際はそのまま数秒間お待ちください。

抽出温度の設定

コーヒーを抽出するときのお湯の温度を4段階から選ぶことができます。初期設定はレベル2になっています。

手順	ディスプレイ表示		
1.  を押して、電源を切る			
2.  をディスプレイアイコンが点灯するまでタッチし続ける			
3.  をタッチして温度レベルを選ぶ ●キャンセルする場合は、  をタッチします。	(レベル)	(温度)	
4.  をタッチして確定する ●ディスプレイアイコンが消灯してプログラムモードが終了します。	レベル 1		低い
	レベル 2		↑
	レベル 3	 	↓
	レベル 4	  	高い

オートオフの設定

初期設定は、使用しない時間が長く続いた場合、2時間後に自動的に電源が「切」になるように設定されています。この電源が切れるまでの時間を変更できます。

※オートオフ機能は解除できません。

手順	ディスプレイ表示										
1. を押して、電源を切る											
2. をディスプレイアイコンが点灯するまでタッチし続ける	(時間)										
3. をタッチして電源が切れるまでの時間を選ぶ ●キャンセルする場合は、をタッチします。	<table><tr><td>15 分</td><td></td></tr><tr><td>30 分</td><td></td></tr><tr><td>1 時間</td><td></td></tr><tr><td>2 時間</td><td></td></tr><tr><td>3 時間</td><td></td></tr></table>	15 分		30 分		1 時間		2 時間		3 時間	
15 分											
30 分											
1 時間											
2 時間											
3 時間											
4. をタッチして確定する ●ディスプレイアイコンが消灯してプログラムモードが終了します。											

プログラムリセット

設定を初期設定の状態に戻します。

手順
1. を押して、電源を切る
2. を点灯するまでタッチし続ける
3. をタッチして確定する ●ディスプレイアイコンが消灯してプログラムモードが終了します。 ●キャンセルする場合は、をタッチします。

リセットを行うと、以下の項目が初期設定に戻ります。

- オートオフ：2時間後
- 節電機能：「入」
- 抽出温度：レベル2
- 水硬度：レベル1
- 各抽出量（定量設定）：初期設定（32ページ）

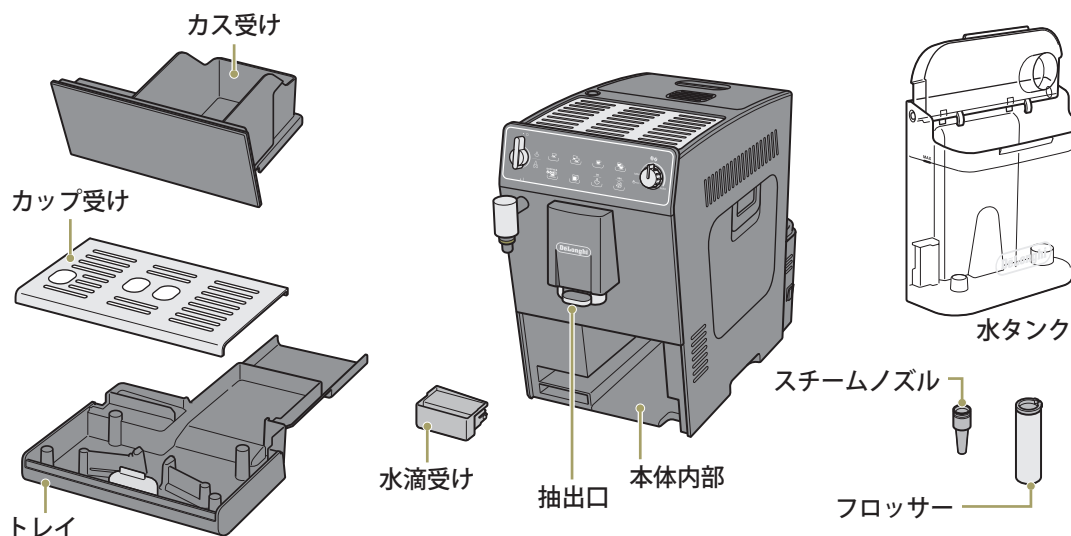
お手入れ

いつも清潔な状態で使用するために、こまめにお手入れすることをおすすめします。

1日の終わりに

コーヒーマシンを使用した日の最後にするお手入れです。

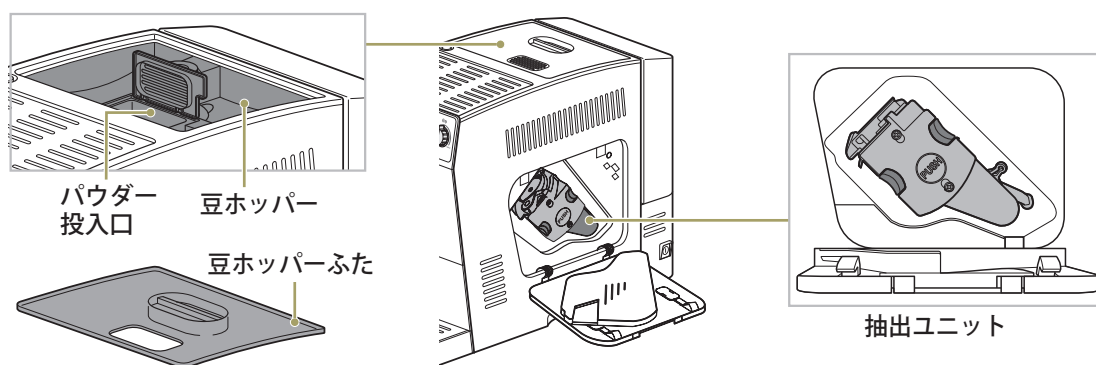
(23～24 ページ)



1カ月に1回

長期間（1週間以上）使用しなかった場合も同じお手入れをしてください。

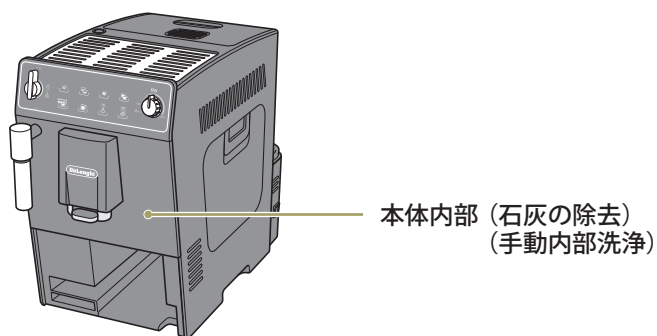
(25 ページ)



必要なときに

ディスプレイアイコンの☒が点滅したときなど、必要に応じてお手入れをしてください。

(26～27 ページ)



準備するもの

● クリーニングブラシ

● コーヒーマシン用除石灰剤

● ふきん

● キッチン用アルコール除菌スプレー

● 先の柔らかいブラシ

● 爪楊枝

- 特に指示がない限り、電源を切り、本体側面の主電源スイッチを切ってから、お手入れしてください。



お手入れは必ず各部が冷めてから行う（やけど・けがの原因）

お手入れに関するお願い

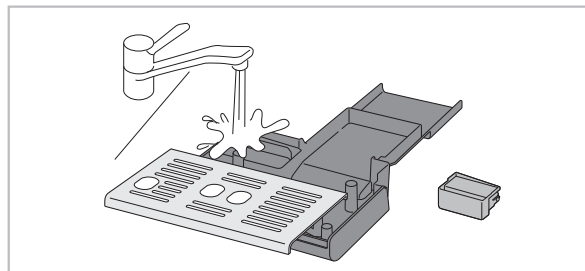
- ベンジン・シンナー・アルコール・研磨剤・漂白剤は、使わないでください。（傷、変色の原因）
- たわし類・メラミンスポンジは、使わないでください。（傷の原因）
- 食器洗い機・食器乾燥機は使わないでください。（変形の原因）

1 日の終わりにするお手入れ

トレイ、カップ受け、水滴受け

水洗い、乾燥

1. 本体から取り外し、水洗いする
2. 乾いたら本体に戻す



カス受け

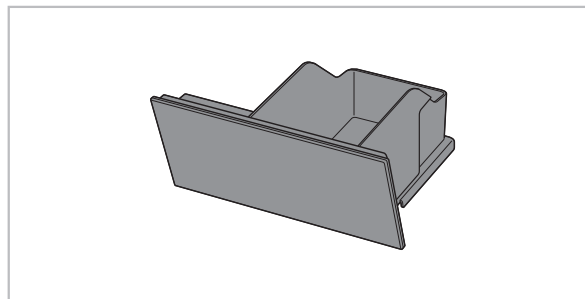
水洗い、乾燥

1. 電源を入れた状態でカス受けを取り外す

抽出杯数を自動カウントしているため、必ず電源が入っている状態でカス受けを取り外してください。

2. カスを捨ててから本体に一旦戻す
3. 電源を切り、本体から取り外して水洗いする
4. 乾いたら、本体に戻す

※  が点滅したら、満杯になっていなくてもカスを捨ててください。



水タンク

水洗い、乾燥

1. 水タンクを取り外し、新しい水を入れる
2. 軽く振って中を洗い、水を捨てる
3. 水タンクの外側の水分を拭き取り、乾いたら本体に戻す



水タンク内の部品が外れないようご注意ください。
動作不良の原因になります。

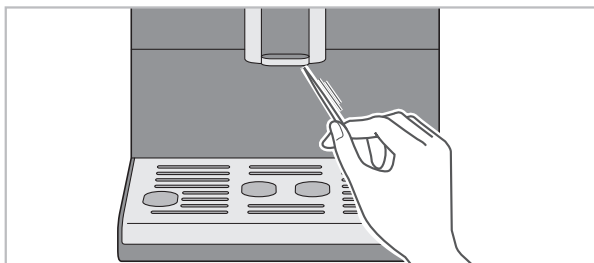


お手入れ（つづき）

抽出口

水洗いできません

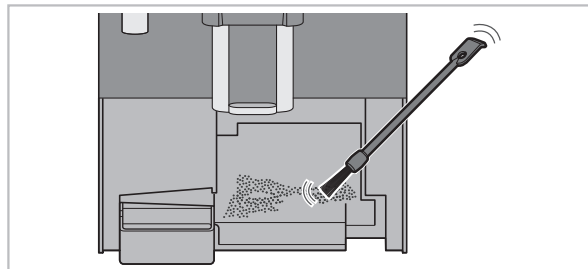
1. かたく絞ったぬれふきんで拭く
2. 抽出口が詰まっていたら、爪楊枝などで汚れを取り除く



本体内部

水洗いできません

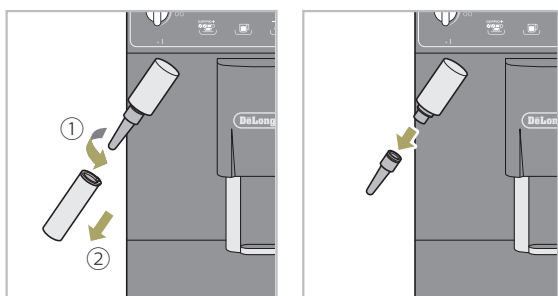
本体内部のコーヒー粉は、付属のクリーニングブラシやかたく絞ったぬれふきんを使って取り除いてください。



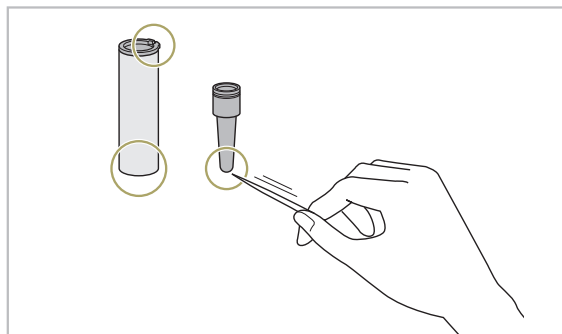
フロッサー・スチームノズル

水洗い、乾燥

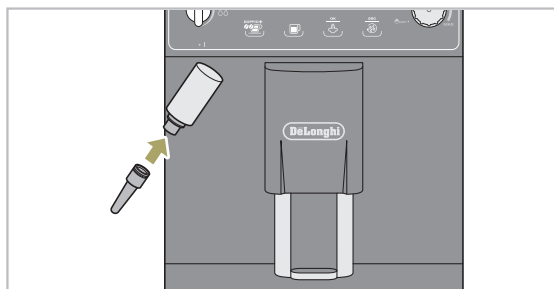
1. 主電源を入れ、⏻ ボタンを押す
2. カップなどをフロッサーの下に置く
3. スチームノブを「I」の位置へ回し、お湯を数秒間出した後、「O」の位置に戻す
4. ⏻ ボタンを押して、電源を切る
5. 2～3分後、フロッサーを外側に向け、フロッサーを図のように回してはずし、スチームノズルを下に引っ張ってははずす



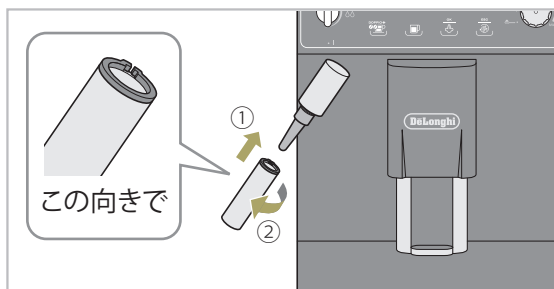
6. フロッサーとスチームノズルを水洗いする
※先端など穴のよごれは、爪楊枝など先の細いもので取り除いてください。



7. スチームノズルを取り付ける



8. フロッサーを図のように差し込み、回して取り付ける



1 カ月に 1 回するお手入れ

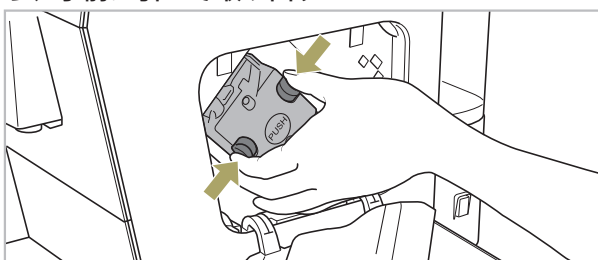
抽出ユニット

水洗い、乾燥

1. 電源が切れていることを確認し、抽出ユニットふたを開ける

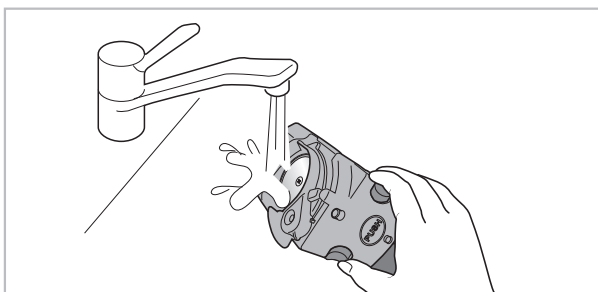
- 抽出ユニットふたは、取っ手を押し下げて手前に引くと開きます。

2. 抽出ユニットの赤いボタン（2箇所）をつまみながら、手前に引いて取り出す



3. 抽出ユニット上部を流水で洗う

- フィルター部分、コーヒーカスを払い落とすレバーの周りなどに残ったコーヒー粉を洗い流します。

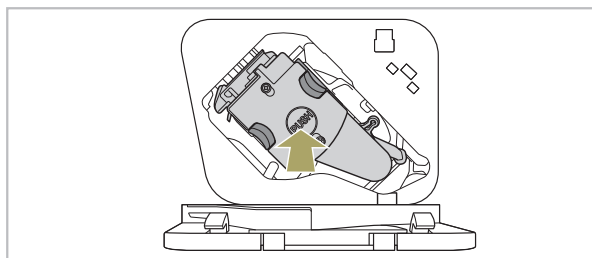
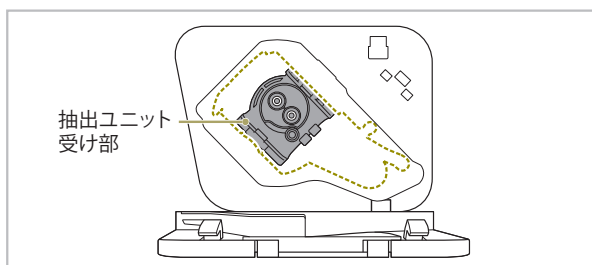


洗剤を使ったり、食器洗い機で洗ったり、水に浸けたりしないでください。（故障の原因）

4. 付属のクリーニングブラシで、抽出ユニット受け部周辺のカスを取り除く

5. 乾いたら、抽出ユニットを抽出ユニット受け部にはめて、「PUSH」と表示されているところをカチッと音がするまで押し、しっかりとめ込む

※はめ込みにくい場合は、赤いボタンを軽くつまみながらはめ込んでください。



※はめ込んだ後に、赤いボタンが凹んだままになっている場合は、抽出ユニットが正しく取り付けられていません。一旦取り出してから、しっかりと取り付け直してください。

6. 抽出ユニットふたを閉める

抽出ユニットの伸縮動作が固くなってきたら

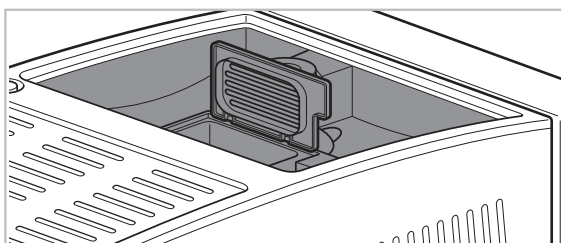
銀色のフィルター部分を指で押し込んだときの伸縮動作が固くなってきたら、抽出ユニット用グリースを塗布してください。そのまま使用を続けると故障の原因となります。

※抽出ユニット用グリースは当社または当社オンラインショップへお求めください。（32、33 ページ）

豆ホッパー、パウダー投入口

水洗いできません

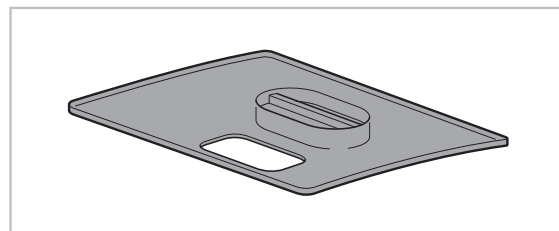
パウダー投入口のコーヒー粉は、付属のクリーニングブラシで取り除いてください。豆ホッパーは乾いたふきんで拭いてください。



豆ホッパーふた

水洗い、乾燥

水洗いして、乾かします。



(つづく)

お手入れ（つづき）

必要なときに行うお手入れ

石灰の除去

石灰の除去作業（所要時間 35 分程度）は中断できません。余裕をもって行ってください。

 が点滅したら

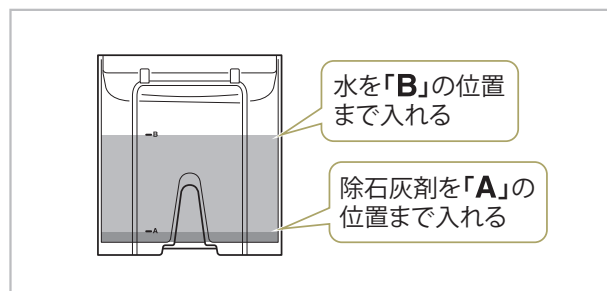
ご使用にともない水の石灰質が徐々に内部管などに付着していきます。そのまま使用を続けると故障の原因になります。以下の手順に従い、付属のコーヒーマシン用除石灰剤で石灰の除去を行ってください。除石灰剤は、お求めの販売店または当社オンラインショップ（32 ページ）でお求めください。

1 準備

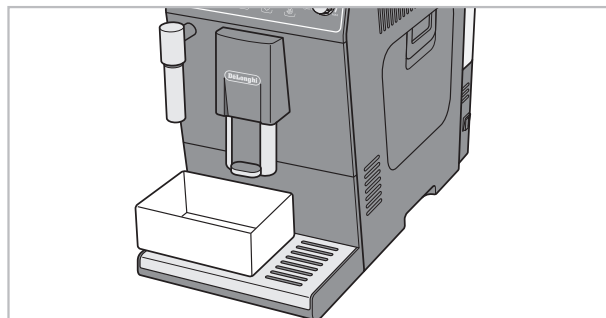
1.  ボタンを押して、電源を切る
※本体側面の主電源スイッチは「入」のままにします。
2. トレイを取り出し、水を捨てて元に戻す
3.  を、下記のアイコンが点灯するまでタッチし続ける



4. 水タンクを空にして除石灰剤を水タンクの「A」の位置まで入れた後、水を「B」の位置まで入れる



5. 水タンクを取り付け、1.5L 以上の容器をフロッサーと抽出口の下に置く



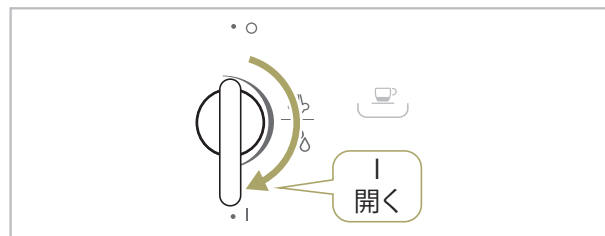
2 洗浄

6.  をタッチする

-  が点滅します。



7. スチームノブを「I」の位置まで回す



- フロッサーと抽出口から水が出て、石灰の除去がはじまります。
- 石灰除去中は自動で水が出たり止まったりします。
- 約 25 分後、 が点滅して洗浄が完了します

3 すすぎ

8. スチームノブを「○」の位置まで回す

- が点滅します。

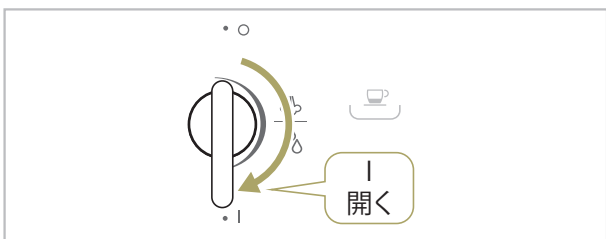


9. フロッサーと抽出口の下に置いた容器を空にし、再度フロッサーの下に置く

10. 水タンクを外して水でよくすすぎ、「MAX」の位置まで新しい水を入れて本体に取り付ける

- が点滅します。

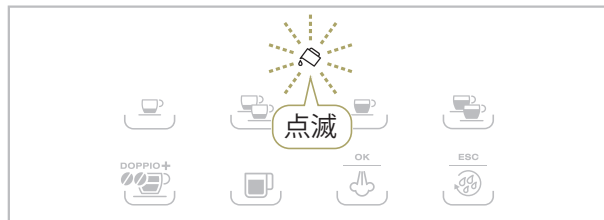
11. スチームノブを「I」の位置まで回して、1回目（抽出口）のすすぎを開始する



- はじめにフロッサーから少量の水が出たあとに抽出口から水が出ます。
- 水タンクの水がなくなると が点滅して1回目のすすぎが完了します。

12. 手順8～11を繰り返して、2回目（フロッサー）のすすぎを開始する

- フロッサーから水が出ます。
- 水タンクの水がなくなると が点滅して2回目のすすぎが完了します。

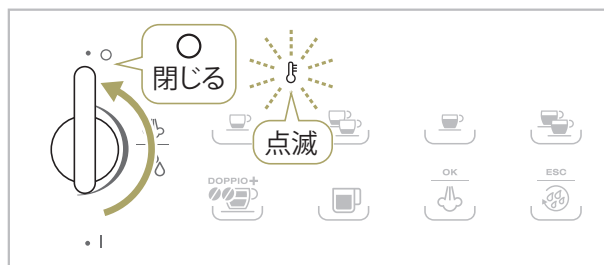


13. 水タンクを外して「MAX」の位置まで新しい水を入れて本体に取り付ける

- が点滅します。

14. スチームノブを「○」の位置まで回す

- が点滅して、石灰の除去が完了します。
- 予熱が完了すると、コーヒーの抽出が可能になります。



が点滅したままの場合、何らかの原因で石灰除去が完了していません。その場合は水だけで石灰の除去を繰り返し行ってください。

石灰除去の頻度について

石灰除去の頻度は、設定した水の硬度によって異なります。水硬度のレベルが低い（軟水）と少なくなり、高い（硬水）と石灰分が付着しやすくなるため多くなります。水硬度の設定は10ページをご覧ください。

水硬度レベル	1	2	3	4
石灰除去の頻度	少ない (軟水)			多い (硬水)

手動内部洗浄

必要に応じて

手動で内部洗浄を行って、コーヒー抽出経路を洗浄します（18ページ）。

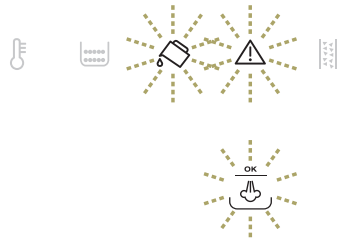
※抽出用にミネラルウォーターや浄水器の水をご使用の場合、週に1度、水道水を使った内部洗浄を数回行うことをおすすめします。水道水の残留塩素で、洗浄効果が高まります。

表示一覧

ディスプレイの表示の意味と対処方法を説明します。
下表のイラストにあるアイコンの「点滅」と「点灯」の見分けかた



表示	説明	対処のしかた
	水タンクの水が不足しています。 水タンクが正しく取り付けられていません。	水タンクに水を入れ、しっかり本体に取り付けてください。
	抽出ユニットふたが開いています。	抽出ユニットふたをしっかりと閉めてください。
	スチームノブを操作する必要があります。	スチームノブを「I」または「O」まで回してください。
	カス受けがいっぱいになっています。	コーヒーカスを捨ててください。 ※ カス受けが満杯になっていなくても、が点滅したら必ずカスを捨ててください。(23 ページ)
	カス受けが正しく取り付けられていません。	カス受けを正しい位置に取り付けてください。
	豆ホッパーのコーヒー豆がなくなりました。	豆ホッパーにコーヒー豆を入れてください。
	パウダー投入口（内部）が詰まっています。	付属のクリーニングブラシでパウダー投入口の清掃を行ってください。(25 ページ)
	パウダー投入口にコーヒー粉が入っていない状態で、コーヒー粉からの抽出が選択されている。	コーヒー粉を使うときは、コーヒー粉をパウダー投入口に入れてください。 (14 ページ) コーヒー豆を使うときは、コーヒー豆量調整つまみを MIN ～ MAX の間に戻してから、抽出ボタンを押してください。 (12 ページ)
	コーヒー豆の量が多すぎます。	コーヒー豆の量を少なく調整してください。 (12 ページ)
	コーヒー粉の量が多すぎます。	コーヒー粉の量を減らしてください。 (14 ページ)
	抽出ユニットが取り付けられていません。	抽出ユニットを取り付けてください。

表示	説明	対処のしかた
	本体の水経路に空気が入っている状態です。	スチームノブを「I」まで回し、お湯が出るまで給湯してください。(18 ページ)
	豆の挽き具合（粒度）が細かすぎて、抽出が遅い（またはされない）状態です。	グラインダーノブを粗いほう（時計回り）に1目盛回してください。(11 ページ)
	石灰を除去してください。	石灰の除去を行ってください。(26 ページ)
	抽出ユニットの動作不良などが考えられます。	① 本体側面の主電源スイッチを一旦「切」にし、約5秒後に再度「入」にしてください。 ② 抽出ユニットを取り付け直してください。 上記手順を行っても解決されない場合は、当社（33 ページ）までご相談ください。

故障かな？

症状	考えられる原因		対処のしかた
コーヒーがぬるい	エスプレッソの温度は 67 ～ 70℃前後が理想とされています。一般的なドリップコーヒー（85℃前後）と比べてぬるく感じるがありますが、異常ではありません。		
	カップが温まっていない		給湯機能を使ってカップを湯煎してください。（18 ページ）
	本体内部が温まっていない		手動内部洗浄を行い、本体内部を温めてください。（18 ページ）
	抽出温度の設定が低い		プログラムモードで抽出温度を「レベル 3」や「レベル 4」に設定してください。（21 ページ）
コーヒーがクリーミーでない （クレマがない／少ない） 抽出が早すぎる	からの抽出豆	コーヒー豆の挽き具合が粗すぎる	グラインダーノブを細かいほう（反時計回り）に 1 目盛回して調整してください。（11 ページ）
		適切な豆を使用していない	新鮮なエスプレッソ用の豆を使用してください。（15 ページ）
	からの抽出粉	コーヒー粉の量が少なすぎる	コーヒー粉の量を増やしてください。（最大：計量スプーン山盛り 1 杯）
		適切なコーヒー粉を使用していない	新鮮なエスプレッソ用の粉（極細挽き～細挽き）を使用してください。
抽出が遅い （ポタポタとしか抽出されない） 抽出されない	抽出口や抽出ユニットが目詰まりを起こしている		抽出口や抽出ユニットのお手入れをしてください。（24、25 ページ）
	の抽出豆から	挽かれたコーヒー粉の量が多すぎる	豆量調整ノブを「MIN」のほうへ回してください。（12 ページ）
		コーヒー豆の挽き具合が細かすぎる	グラインダーノブを粗いほう（時計回り）に 1 目盛回して調整してください。（11 ページ）
	の抽出粉から	コーヒー粉の量が多すぎる	投入するコーヒー粉の量を減らしてください。
		電源が「切」のときにコーヒー粉を投入した	内部に粉が飛び散るため、本体内部および抽出ユニットのお手入れを行ってから、電源を入れてコーヒー粉を投入してください。（24、25 ページ）
カフェ・ジャポネ抽出中に音がする	カフェ・ジャポネは、エスプレッソとは違った方法で抽出します。故障ではありません。		
大きな音が生じて抽出口からコーヒーなどが出ない	本体の水経路に空気が入っている		給湯機能でお湯を出してください。（18 ページ）
コーヒーが片方の抽出口からしか出てこない	片方の抽出口が詰まっている		抽出口をお手入れしてください。（24 ページ）
	本体が水平に設置されていない		水平に設置してください。
スチームノブを「I」の位置へ回してもスチームが出ない	水タンクに水がない		水タンクに水を入れてください。
	OK OK をタッチしてから 30 秒以上経過した		もう一度 OK をタッチしてください。（16 ページ）
	スチームノズルが目詰まりしている		フロッサーとスチームノズルをお手入れしてください。（24 ページ）
スチームが水っぽい	スチームの予熱が完了していない		OK が消灯し、 OK が点滅してからスチームを出してください。
スチームが急に止まる	スチームを出し始めて 3 分が経過したため、安全装置が作動し、スチームが止まった		スチームノブを「O」の位置へ戻してください。
	水タンクに水がない		水タンクに水を入れてください。

症状	考えられる原因	対処のしかた
① ボタンを押しても電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	本体側面の主電源スイッチが「切」になっている	本体側面の主電源スイッチを「入」にしてください。(11 ページ)
お手入れの際、抽出ユニットが取り外せない	本体の電源が「入」になっている状態で取り外そうとした	抽出ユニットは、電源が「切」のときのみ取り外すことができます。本体の電源を「切」にしてから取り外してください。(25 ページ) ※無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。
石灰の除去をしても [点滅] が点滅する	洗浄やすすぎが完了していなかった	水だけで石灰の除去を繰り返し行ってください。(26 ページ)
	途中で電源を切った	※石灰の除去の際は、お湯の排出・停止を自動的に繰り返します。
電源を「入」にした後に [点滅] が点滅する	カス受けのお手入れ後、最初のコーヒー抽出から 72 時間以上経過した	カス受けをお手入れしてください。 ※衛生のため、お手入れ後、最初のコーヒー抽出から約 72 時間後に [点滅] が点滅します。本体側面の主電源スイッチを「切」にすると 72 時間のカウントはリセットされます。
グラインダーにコーヒー豆が引き込まれない	油分の多いコーヒー豆を使用している	油分によって豆が豆ホッパーに付着してしまい、グラインダーに引き込まれないときは、豆ホッパーを乾いたふきんで拭いてください。
牛乳の泡立ちが悪い Ⅱ フロスミルクがうまくできない	泡立て用の容器（ミルクジャグ）の形が適切ではない	口径が小さく深めのもの（金属製）をお使いください。(15 ページ)
	フロッサー、スチームノズルの穴が目詰まりしている	フロッサーとスチームノズルをお手入れしてください。(24 ページ)
	スチーム管の O リングが破損または欠損している	当社へご連絡ください。(33 ページ)
カス受けをお手入れしても [点滅] の表示が消えない	カスを捨ててからすぐにカス受けを取り付けると表示は消えません。 10 秒程度待ってからカス受けを取り付けてください。	

メーカー保証用お客様登録のお願い

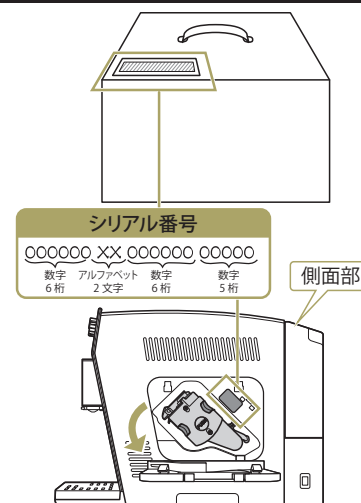
より良いサービスをご提供することを目的に、本製品では**メーカー保証を有効にする前に、お客様の情報を当社に登録していただく仕組み**になっています。

別紙のご案内用紙に記載の手順に従って、製品のお買い上げ日から **1 カ月以内** に登録をしていただけますようお願いします。

なお、ご登録に必要な製品のシリアル番号は、製品本体または製品の箱でご確認いただけます（右図）。

保証登録が完了したお客様には、抽選で当社製品などをプレゼントするアンケートにご参加をいただくことができます。

アンケートの要綱は登録後にお知らせする URL（ウェブページ）でご覧いただけます。



こんなときは

仕様

製品名称	デロンギ オーテンティカ コンパクト全自動コーヒーマシン		
型式番号	ETAM29510		
定格	電圧／周波数	交流 100V 50 / 60Hz	
	消費電力	1450W	
外形寸法（約）	幅 195 ×奥行き 480 ×高さ 335（mm）		
質量（約）	9.2kg		
水タンク容量	1.35L (MAX の目盛り)		
豆ホッパー容量	230g		
豆量設定	1 杯抽出時：約 6 ～ 10g、2 杯抽出時：約 10 ～ 14g、ドッピオ + 時：約 15g、 カフェ・ジャポネ時：12 ～ 20g		
コーヒー抽出量	メニュー	初期設定	設定範囲
	1 杯抽出 [少]	約 30mL	約 20 ～ 180mL
	2 杯抽出 [少]	約 60mL	約 40 ～ 360mL
	1 杯抽出 [多]	約 120mL	約 20 ～ 180mL
	2 杯抽出 [多]	約 240mL	約 40 ～ 360mL
	ドッピオ +	約 120mL	約 80 ～ 160mL
	カフェ・ジャポネ	約 180mL	約 120 ～ 250mL
カス受け容量	最大 20 杯分		
コーヒーパウダー	使用可（最大 計量スプーン山盛り 1 杯分）		
ポンプ圧	15 気圧		
グラインダー	コーン式コーヒーグラインダー		
付属品	計量スプーン、コーヒーマシン用除石灰剤、水硬度チェッカー、クリーニングブラシ		



この製品は欧州 RoHS 指令に適合した製品です。

欧州 RoHS 指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。

この製品は、鉛およびその化合物、水銀およびその化合物、六価クロム化合物、カドミウムおよびその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

別売品

●以下の部品は、お求めの販売店または当社オンラインショップでご購入いただけます。

■ミルクジャグ

■コーヒーマシン用除石灰剤（2 個入り）

■水硬度チェッカー

■抽出ユニット

■バリスタキット

■抽出ユニット用グリース

デロンギ・ジャパン オンラインショップ URL <http://shop-casa-delonghi.com/>

アフターサービスについて

1) お客様情報登録のお願い

本製品の保証は当社にお客様登録をいただき、当社からお客様登録番号が発行されることで有効となります。
お手数ですがお買い上げ後 1 カ月以内に、別紙『メーカー保証用お客様登録のご案内』に従って、登録を完了してください。

2) 使用中に異常（★）が生じた場合

直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな？」（30 ページ）を調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社（下記参照）にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- ・使用中、電源プラグ・コード、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源プラグ・コードが変形／破損している
- ・本体に水などの液体をこぼした
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

3) 万一、故障した場合

修理をご依頼される前に、別紙「メーカー保証用お客様登録のご案内」に『型式番号とシリアル番号』、『お客様登録番号』、『お買い上げ時のレシート（領収書、配送伝票など）』、『ご氏名とご連絡先、故障状況』がもれなく記入・貼付されていることをご確認ください。

- 製品と「メーカー保証用お客様登録のご案内」原紙を、お買い上げの販売店にご提示になり、修理をご依頼ください。
- お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、上記をお手元にご用意の上、下記へご相談ください。

本製品のメーカー保証範囲は保証規定によります（注記参照）。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせや有償での修理をうけたまわります（補修用性能部品保有期間内）。
（注記）別紙記載の手順により、**お買い上げ日から 1 か月以内**にお客様情報の登録を行ってください。

4) 補修用性能部品の保有期間について

当社では、このコンパクト全自動コーヒーマシンの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に 5 年間保有しております。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5) まごころ点検について



保証期間（1 年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金などにつきましては、下記までお問い合わせください。

6) エコ回収（回収・再資源化システム）について

ご不要になった製品は、当社が費用を負担し、素材ごとに分別、再資源化いたします。

製品のお預かり方法など、再資源化のご相談は、下記までご連絡ください。



送料について：送料はお客様のご負担（元払い）となります。あらかじめご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※事前に当社ホームページ（下記）等で送付先をご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または下記までお問い合わせください。

デロンギ お客様サポートセンター（受付時間：土、日、祝日を除く毎日 9:30 ～ 18:00）

TEL. 0120-804-280 / FAX. 0120-956-020

〒 201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページでのお問い合わせ（URL） <http://www.delonghi.co.jp/support>

[illegible]

[illegible]

お知らせ 本製品のシリアル番号は、抽出ユニットふたを開けたところまたは製品の箱のシールに記載されています（31 ページ）。

ご登録いただいた個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは、当社（下記）でうけたまわります。

--

6713234931 00 0318



※この取扱説明書に記載されている連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間は変更することがありますのでご了承ください。